

経営比較分析表（平成28年度決算）

大分県 姫島村

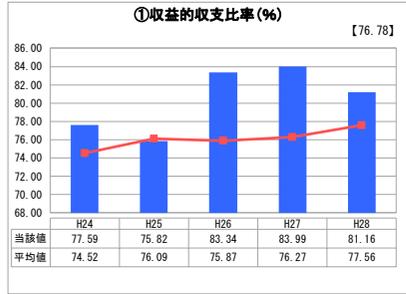
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	100.00	3,996	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,152	6.99	307.87
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,121	6.98	303.87

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [] 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



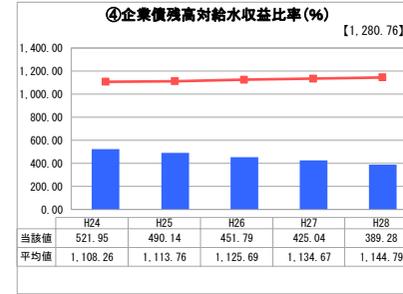
「単年度の収支」



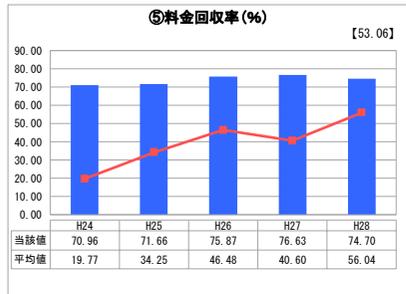
「累積欠損」



「支払能力」



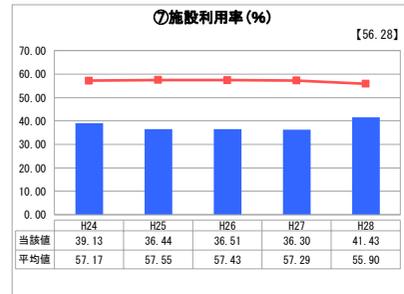
「債務残高」



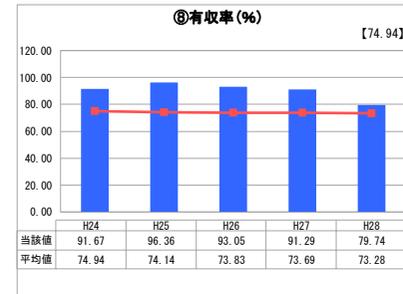
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

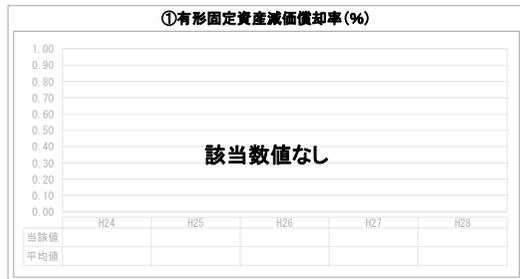


「施設の効率性」

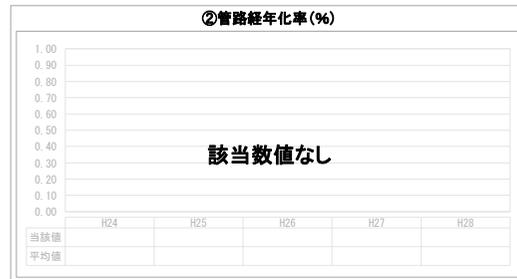


「供給した配水量の効率性」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は料金回収率の向上と地方債償還金等減少傾向により全国平均・類似団体より高い。
 ④企業債残高対給水収益比率はH23の管路更新事業以降、村債を発行していないため、年々減少している。当面、村債を発行する予定が無いため、今後も減少していく見込である。
 ⑤料金回収率は年々上がっており、今後も経費節減に努め、料金回収率の向上を図る。
 ⑥給水原価はH23の管路更新事業以降、施設整備事業に伴う大規模な村債発行を行っていないため、全国平均・類似団体より低い。今後も維持管理費の削減などの経営の健全化を図る。
 ⑦施設利用率は人口減少に伴い、計画給水人口2,950人に對し、現在給水人口は2,121人となっている。平均給水量も減少傾向である。施設利用の適切な施設規模の把握が必要である。
 ⑧有収率は全国平均・類似団体より高いが、漏水等の有収率の減少に繋がる原因等が少なくなるように努める。

2. 老朽化の状況について

H23に管路更新事業を行っており、老朽管についておおむね更新が終わっている。今後は、中長期的な施設改修計画を策定し、浄水施設等更新の検討が必要となる。

全体総括

人口の減少に伴う料金収入の減少や浄水施設の老朽化に伴う施設改修費用増加等、今後の水道事業経営は厳しい状況にあるが、人件費等の歳出削減策や交付税措置の無い村債は発行しない等の経費節減により経営の健全化を図る。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。